

2025年9月30日
発行/日本共産党市議会地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-303-3025
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.171

9月議会代表質問

市民が関心のある項目を質問

平和行政・教育行政・災害対策



平和行政について
9月5日から9月市議会が開かれています。9日に代表質問を行いました。「平和行政」「教育行政」「災害対策」「電話0の詐欺対策」「下水道行政」「外来植物の対応」について、取り上げました。

平和行政について
広島・長崎へ毎年派遣を
問 10年ぶりに、市内の中学生を広島に派遣した「平和学習青少年派遣事業」について、感想や今後の取り組みを問う
答弁 「1発の爆弾で数十万人の生活や未来が奪われたことに愕然とした」「平和の大切さを若い世代につないでいかなければならないと思った」などの感想が出され、記録動画を配信するなど市民と共有していきたい。

問 5年ごとでなく、毎年派遣できないのか。他市の状況は。

答弁 船橋市は毎年派遣し、二泊三日で広島と長崎に交互に派遣。松戸市は、毎年三泊四日で長

崎に派遣。

要望 市川市も毎年派遣すること。「平和基金」での派遣は、市民にも寄付を募り、平和について家族で考える機会を作ってもよいのではないだろうか。

教育行政について
新規採用教員の育成を

問 新規採用教員が1年以内に退職という事例が県内で起きている。指導教員との関係、悩みを相談できないということもある。現状と育成について問う。

答弁 市内では、毎年90名と多くの教員を採用している。指導教員は28名で、元管理職や、経験豊かで指導力のある教員を配置している。

要望 指導教員との軋轢や上から目線の指導などで辞めていく新任教員がいる。行き過ぎた指導がないように、充分注意していただきたい。

災害対策について
マップ作成、備蓄品公表

問 避難場所や避難所が掲載されている減災マップやハザードマップは何か国語で作成しているのか問う。

答弁 ハザードマップは、英語、韓国語、ベトナム語の3カ国語に対応したものを作成している。

要望 市川市には、現在、116カ国2万3千人が暮らしている。多言語でのマップを作成して、外国人に配布して、もらいたい。

問 備蓄品の現状について問う。

答弁 市内14か所の防災倉庫と小中学校の備蓄倉庫に、食糧、日用必需品、プライベートメントなど避難所の生活環境を整えるための資機材など揃えている。災害対策基本法の改正で備蓄状況の公表が義務付けられた。

要望 備蓄品を公表することは良いこと。家庭での備蓄と合わせて、災害対策をしっかりして、大規模災害に備えるべきだと思います。



田中市長が議場で暴言

8日の代表質問は、創生自民第一の稲葉議員でした。昼休憩前に、市長が手を上げ「資本主義、民主主義を基本としている市川市政といたしましては、さきの議会において共産党の議長候補に投票すべきと、同僚と後輩議員に促し、扇動した姿は、いまだに理解することができません」と発言しました。午後一番に、私は市長の発言取り消しを求めましたが、「取り消すつもりはありません」。

以前も、市長は二元代表制である議会に口をはさむ行為をしてきました。今回の議会でも決議をあげます。



日曜版電子版

ご購読をお願いします

電話de詐欺被害対策について

問 県内でも電話の詐欺が増えている。本市の現状と対策を問う。

答弁 令和6年7月末で45件が今年同時期で73件、被害総額は4億円を超えている。本物の警察官を装って騙したり、手口が変わってきている。対策としては、知らない番号は出ないなど広報やイベントなどで注意喚起をしている。

問 若者が詐欺にあっているようだ。

答弁 40代以下の被害割合が、令和6年は8.9%が、今年は24.7

%に急増している。若い世代にも注意喚起が必要であると認識している。

外来植物に対する対応について

問 ケシの仲間であるナガミヒナゲシは、毒性があるのか、どのように対処したら良いのか、問い合わせがある。

答弁 ナガミヒナゲシは繁殖力が強く、群生する特徴があり、毒性は低いものの触れるとかぶれるので、長袖や手袋を着用し、根から引き抜いて除去するように、周知している。

要望 子どもたちへの周知もしっかりと努めていただきたい。

「市川なんでも相談会」実行委員会は今年で4回目の相談会をJR市川駅南口広場で開催します。「労働」「生活」「健康」などなんでも、弁護士、社労士、看護師など専門スタッフが相談に応じます。料金はかかりません。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

ひとりでも悩まないで！
労働 生活 健康
なんでも相談会
10月17日(金) 14時～17時
市川駅南口広場
【事前の電話相談】047-312-6685
10月15日(水)・16日(木) 10時～12時
主 催 「市川なんでも相談会」実行委員会
主 席 高橋 高志 090-4614-8600 市川 090-2325-9347

10月17日(金)
14時～17時
市川駅
南口広場

山添さん！JCPトークライブ
なんで投票したのに政治は変わらないんですか？
テレビが伝えない国会の見方
—10代～50代のみなさんへ—
10.25(土) 開場9:30 開会9:45
船橋市 東部公民館 4階 講堂
あなたの疑問に日本共産党参議院議員 山添 拓 がズバリ答えます

10月25日(土)
9時30分開場
船橋市東部公民館

山添参議院議員トークライブ
あなたの疑問にズバリ答えます

◎10月14日(火)
担当 藤盛夏子弁護士
◎11月11日(火)
担当 広松大輝弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

無料法律相談

《主な活動報告 8, 9月》

☆8月23日 生活保護問題議員研修会

名古屋市内で開催されました。この間、生活扶助基準が引下げに対して、取り消しを求めた裁判で、最高裁は「取り消す判決」を言い渡しました。謝罪と保護費の遡及を求めていることが、ひとつの大きな闘いです。その最高裁判決の意義をしっかりと学びました。



☆8月24日 児童議会が開かれました

市内の小学5, 6年生を42人集めた児童議会が開かれました。議席につき、それぞれ関心のあることを質問をして、各部長が答弁に立ちました。質問も多岐にわたっており、見ている方が感心するくらいでした。

☆8月30日 教育のつどい

全教の皆さんが中心となって実行委員会をつくり、今年で4回目となります。今回は、「不登校を考える」と題して、ご自身も不登校を経験したという福嶋尚子千葉工業大学准教授のお話を聞きました。



☆9月19日 丸木美術館へ行ってきました

9月下旬からリニューアルのため、27年5月まで休館するという「原爆の図 丸木美術館」に行ってきました。広島出身の丸木位里さんと妻の俊さんの共同制作で、原爆の落ちたすぐあとに広島を訪れ見た光景を描いています。長らく原爆投下も知らされていない中で各所で展覧会を開いてきました。

